

別添 2

④ 家畜衛生等総合対策	52億円 (55億円)
・ 鳥インフルエンザ等の家畜の伝染性疾病について、水際対策を実施するとともに、家畜伝染病予防法に基づく発生予防・まん延防止対策や管理獣医師による生産性向上に向けた衛生管理指導の実施等を支援	
⑤ 産地偽装取締強化等対策	3億円 (3億円)
・ 原料原産地表示の円滑な導入を含め、適正な産地表示等を確保するため、食品の科学的分析による原産地判別等を強化し、効果的・効率的な監視を実施	

6 農山漁村の活性化

(1) 日本型直接支払の実施

① 多面的機能支払交付金	487億円 (484億円)
・ 農業者等で構成される活動組織が農地を農地として維持していくために行う地域活動や、地域住民を含む活動組織が行う地域資源の質的向上を図る活動に交付金を交付	
② 中山間地域等直接支払交付金	263億円 (263億円)
・ 中山間地域等における農業生産条件の不利を補正するため、条件不利地域での農業生産活動を継続して行う農業者等に交付金を交付	
③ 環境保全型農業直接支払交付金	25億円 (25億円)
・ 化学肥料及び農薬の5割低減の取組と合わせて、地球温暖化防止等に効果の高い営農活動を行う農業者団体等に交付金を交付	

(2) 中山間地農業の所得向上を始めとした農山漁村の活性化

① 中山間地農業ルネッサンス事業<一部公共>

- 傾斜地等の条件不利性や鳥獣被害の増加など中山間地農業が置かれている状況を踏まえつつ、地域の特色を活かした多様な取組を後押しするため、多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現や、地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承に向けた取組を総合的に支援

440億円

(400億円)

(優先枠等を設けて実施)

② 中山間地域所得向上支援対策

- 中山間地域において、収益性の高い農産物の生産・販売等に本格的に取り組む場合に、実践的な計画策定、水田の畑地化等の基盤整備、生産・販売等の施設整備等を総合的に支援

【補正予算】

280億円

うち本体

80億円

うち優先枠

200億円

(農山漁村振興交付金で実施)

53億円

(57億円)

③ 「農泊」の推進

- 増大するインバウンド需要等を呼び込み、農山漁村の所得向上を図るため、「農泊」をビジネスとして実施できる体制の構築や地域に眠っている資源の魅力ある観光コンテンツとしての磨き上げ等の取組、古民家等を活用した滞在施設、農林漁業体験施設等の整備を一体的に支援

(このほか、国有林において、多言語による情報発信、木道整備等を実施)

98億円

(101億円)

④ 農山漁村振興交付金

- 農山漁村のコミュニティ機能や定住条件の強化のためのICTの活用、都市農業の振興、福祉農園の整備等による農福連携、特色ある地域資源の活用等による山村活性化、生産施設等の整備等の取組を総合的に支援

【補正予算】

104億円

3億円

(105億円)

⑤ 鳥獣被害防止対策とジビエ利活用の推進

- 鳥獣被害対策実施隊の増設・捕獲活動の一層の強化、侵入防止柵の設置やICTを活用した「スマート捕獲」等の鳥獣被害防止対策とともに、ジビエ利活用の拡大に向けたモデル地区の横展開を支援するほか、森林被害防止のための広域・計画的な捕獲等をモデル的に実施

【補正予算】

⑥ 特殊自然災害対策施設緊急整備事業	2億円	2億円
・ 火山の降灰被害に対応するための洗浄用機械施設等の整備やこれと一体的に行う用水確保対策等を支援	(2億円)	
(3) 再生可能エネルギーの導入・活用の推進		(食料産業・6次産業化交付金等で実施)
① 再生可能エネルギー導入等の推進	15億円の内数 (18億円の内数)	
・ 太陽光発電を始めとした再生可能エネルギー事業によるメリットを地域の農林漁業の発展に活用する取組や地域のバイオマスを活用した産業化等に必要な施設整備等を支援		
② 木質バイオマスの利用拡大	4億円 (4億円)	(林業成長産業化総合対策で実施)
・ 集落を中心とした「地域内エコシステム」の構築に向けたモデル的な取組や新たなマテリアル利用の促進に向けた技術開発等を支援		

7 林業の成長産業化と生産流通構造改革の推進

森林が本格的な主伐期を迎えるという状況の変化に積極的に対応し、新たな森林管理システムと森林環境税（仮称）の創設による林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を実現するとともに、木材の輸出も含めた需要拡大を行うことにより、時代の転換期に即した森林・林業施策を充実

① 林業成長産業化総合対策<一部公共>	241億円 (235億円)
・ 森林経営管理法に基づく新たな森林管理システムを推進するため、森林の経営管理を担う意欲と能力のある林業経営者の育成や経営の集積・集約化を進める地域への路網整備・高性能林業機械の導入、川上から川下までを結ぶサプライチェーンの構築による流通コストの削減、C L T（直交集成板）等の利用促進など木材需要の拡大等に向けた取組を総合的に支援	

ア 林業・木材産業成長産業化促進対策

- ・ 意欲と能力のある林業経営者を育成し、木材生産を通じた持続的な林業経営を確立するため、出荷ロットの大規模化、資源の高度利用を図る施業、路網整備、高性能林業機械の導入、木材加工流通施設の整備等を総合的に支援

イ スマート林業の促進

- ・ ロボット・AI・IoT等の先端技術を活用した森林施業の効率化や需給マッチングによる流通コストの削減などスマート林業の構築に向けた取組、施業現場の管理者育成等を支援

ウ 木材需要の拡大・生産流通構造改革促進対策

- ・ 「伐って、使って、植える」というサイクルを回すためには木材の需要拡大が重要であることから、CLT等の利用促進や民間との連携による中高層・非住宅建築物等への木材利用の促進や公共建築物の木造化・木質化などによる新たな木材需要の創出、高付加価値木材製品の輸出拡大、サプライチェーン構築に向けたマッチング等の取組を支援

② 合板・製材・集成材国際競争力強化対策<一部公共>

【補正予算】
392億円

- ・ 木材製品の国際競争力を強化するため、林業経営を集積・集約化する地域に対して、路網整備や高性能林業機械の導入等を支援するとともに、加工施設の大規模化・高効率化や高付加価値品目への転換、非住宅分野等における木材製品の消費拡大、クリーンウッド法の定着実態調査等を支援

③ 森林整備事業<公共>

【補正予算】
1,221億円
(1,203億円)

- ・ 林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を実現するため、新たな森林管理システムが導入される地域を中心に、間伐や路網整備、再造林等を推進するとともに、国土保全や地球温暖化防止等に貢献

④ 「緑の人づくり」総合支援対策

47億円
(49億円)

- ・ 林業への就業前の青年に対する給付金の支給や、「緑の雇用」事業により新規就業者を現場技能者に育成する研修等を支援するとともに、新たな森林管理システムと森林環境税（仮称）の創設を踏まえ、市町村の森林・林業担当職員を支援する人材の育成を推進

⑤ 森林・山村多面的機能発揮対策

14億円
(15億円)

- ・ 森林・山村の多面的機能の発揮を図るため、地域における活動組織が実施する森林の保全管理や森林資源の利用等の取組を支援

	【補正予算】
⑥ 治山事業<公共>	606億円 (597億円)
• 豪雨災害など激甚化する災害に対する山地防災力強化のため、荒廃山地の復旧・予防対策、総合的な流木対策の強化等を推進	
⑦ 花粉発生源対策推進事業	1億円 (1億円)
• 花粉症対策苗木への植替え、花粉飛散防止剤の実証試験、スギ・ヒノキの雄花着花状況調査等の取組とともに、これらの成果の普及啓発等を一体的に支援	
⑧ 農山漁村地域整備交付金<公共>（再掲）	927億円 (917億円)
• 地方の裁量によって実施する農林水産業の基盤整備や農山漁村の防災・減災対策に必要な交付金を交付	

8 水産改革を推進する新たな資源管理と水産業の成長産業化

① 新たな資源管理システムの構築	【補正予算】
ア 資源調査・評価の充実	70億円 (45億円)
• 調査船調査、漁船を活用したデータ収集、市場調査等を拡充することにより、資源評価対象種の拡大や資源評価の精度向上等を支援	
イ 新たな資源管理に適合した操業体制の確立	(所要額) 42億円 【補正予算】 12億円 (-)
• TAC対象魚種の拡大、IQ導入など新たな資源管理措置への移行に伴う減船・休漁等により影響を受ける漁業者等を支援	
ウ スマート水産業の推進	(資源調査・評価の充実で実施) 5億円 (4億円)
• ICTの活用等により、効率的に操業データ等を収集する体制の整備やデータを連携させる仕組みの検討、漁場探索技術の開発等を支援	